

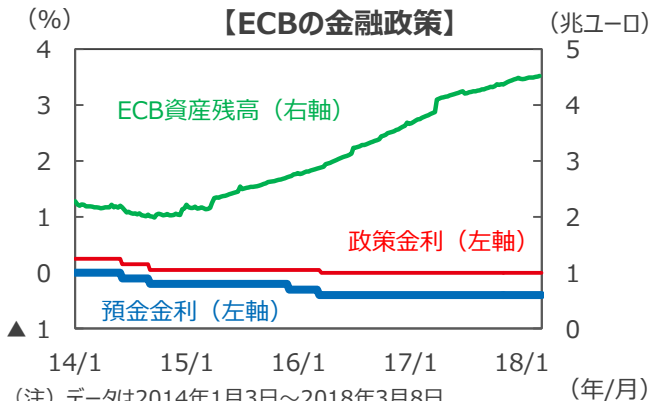
## 今日のトピック ECBの金融政策は現状維持（2018年3月） 緩和姿勢を微調整

### ポイント1 政策金利は据え置き QEは当面、継続の方針

- 欧州中央銀行（ECB）は3月8日の理事会で、政策金利、中銀預金金利（金融機関が余剰資金を預け入れた際に適用される金利）を、それぞれ0.00%、▲0.40%に据え置きました。
- 量的緩和策である資産購入プログラム（QE）は、月間300億ユーロの規模で、2018年9月まで継続されます。

### ポイント2 緩和姿勢を微調整 景気は拡大基調、政治も安定化

- 今回合会の議事要旨では、QEについて、「状況が悪化すれば、債券購入の規模拡大や期間延長を実施する用意がある」との文言を、削除しました。今後、ECBが購入規模の拡大および期間延長を行う可能性は大幅に低下したと見られます。
- 金融政策の正常化を進めるうえでは、景気に加え、政治面の安定性も重要となります。イタリアの選挙結果は概ね市場の想定通り、ドイツの政治も連立政権の発足が固まった現在が、緩和姿勢を微調整するのに適した時期と捉えたと考えられます。



(注) データは2014年1月3日～2018年3月8日。  
ECB資産残高は3月2日まで。  
政策金利はMain Refinancing Operations 金利。  
預金金利はDeposit Facility 金利（翌日物）。  
すべて週次統計。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2015年1月1日～2018年3月8日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 緩やかなペースで金融政策の正常化を進める見通し

- ECBのドラギ総裁は、「QEの終了から利上げまで、ある程度の期間が必要」との見解を繰り返しました。欧州の景気は良好ですが、インフレ圧力が限定的なことを考え合わせると、QE終了は2018年9月、利上げは2019年前半頃になると予想されます。
- ドラギ総裁の「QE終了後も相当の期間、政策金利は現行の水準に据え置かれる」との発言を受け、欧州の主要株式市場では、軒並み株価が上昇しました。一方、ユーロは米ドル等、主要国通貨に対して下落しました。

ここも  
チェック! 2018年3月6日 ドイツの『大連立政権』がようやく発足へ  
2018年3月1日 ユーロ圏経済は内需・外需ともに堅調

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。